

# 浜松市要介護度改善評価事業 取組み事例報告書

株式会社エイルプラス グループホーム明日香ユニットリーダー 溝口実沙  
サブリーダー 山田敦子



# 目次

- 1. グループホーム明日香の紹介 . . . P3
- 2. 事例紹介 . . . P4
- 3. 取り組み報告 . . . P5～14
- 4. まとめ . . . P15



# 1. グループホーム明日香の紹介

- ▶ 2022年7月株式会社エイルプラスが事業を引き継ぎグループホーム明日香としてスタートする。
- ▶ 介護理念「お互い様の心」  
一方的にサービスを提供すると言うより 一緒に支え合いながらお互い様の気持ちを大切に生活する事を心がけています。



## 2. 事例紹介

### ▶ 対象者について



名前	Y様 (79歳 女性)
介護度	要介護度 5
病歴	両大腿骨頸部骨折、アルツハイマー型認知症 アスペルガー症候群、不安神経症、統合失調症
生活歴	8人姉弟、母離婚し家事はY様が行う。母を恨んでいた 経済的に苦しく合格した高校の入学を断念、16歳～21歳バスガイドになる 21歳で結婚し娘2人授かる、パートをしながら、PTA・ガールスカウト・婦人会 ボランティア・選挙カーのウグイス嬢、を行い活動的だった

時期	介護度	場所	生活状況
2016年11月	1	独居 Aビル・デ・イ・ビル	夫と死別し精神不安定、対人トラブル増え人との関わり拒む
2022年9月~1月	5	入院	両大腿骨頸部骨折で手術 食事服薬拒否、妄想、歩行困難となる
2023年1月~2月		ショートステイ	男性職員に対して、先入観で拒否感が強い。車椅子で生活 センサーマット使用
2023年2月15日		グループホーム 明日香	入居

### 3. 取り組み報告

#### ▶ 取り組みのきっかけ



ご本人

- 骨折してから、依存心が強くなった
- 目を合わせず聞き取りにくい口調
- 夫との死別後、7年間も外に出ず人と関わることを拒む
- 世話好きで歌う事や人前で話すことが好きな性格だった

転倒リスクよりも自分で動けてやりたい事ができ  
人とのつながりを大切にすることで楽しく生きがいのある  
自立した生活が送れるようになればと思います



ご家族

**出来る力はあるのに精神的な病気があり、思うように行動が移せない。  
→ 自信がつけば可能性が広がる方ではないかと思った為、取り組みにチャレンジ**

# 3. 取り組み報告

## ▶ 目標設定

職員 「歩いてみませんか？」

Y様 「骨折してボルトが入っています。痛くてできません」

職員 「歩けるようになってY様に色々な所を案内してもらいたかったです。残念です」

Y様 「バスガイドをしていました。浜松城公園に行きたいです」

職員 「坂や階段があるので車椅子だと行くのは難しいですね」

Y様 「歩けるようになります」

## ◆ ポイント

強制せず生活歴をヒントにご本人からやる気が出せるように誘導する！

## ▶ 最終目標

他者と歩いて浜松城公園へ行く



# 3. 取り組み報告

## ▶ 目標設定2

～敬老会に向けて飾りを作っていると突然～

Y様 「敬老会の司会をやります」

職員 「主役が司会でいいんですか？2時間人前に立てますか？」

Y様 「やります」

～ご家族へ確認～

職員 「本人の気持ちは大切にしたいが話し方が個性的な為、大勢の人の前に立ち心を傷つけないか心配です」

ご家族 「ご迷惑でなければやらせてあげて下さい!!  
娘の結婚式の司会もやりたいと言っていたんです  
私たちもサポートします」

## ◆ ポイント

否定しない。どうしたらできるのか検討

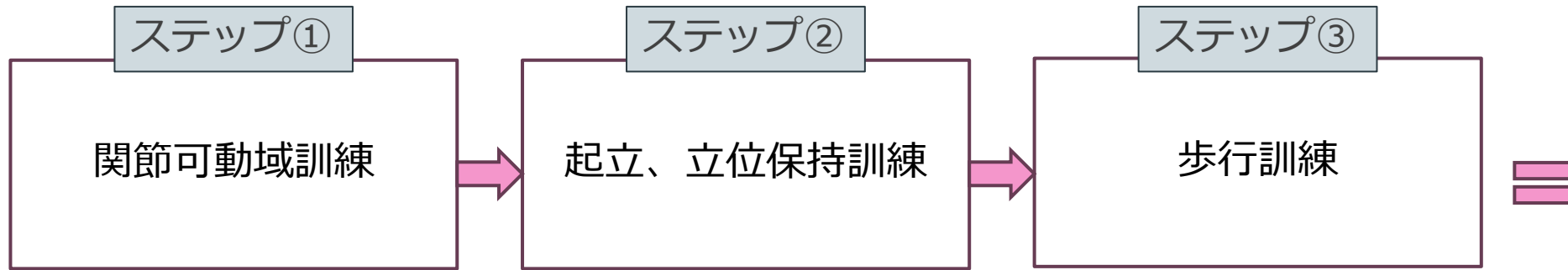
## ▶ 最終目標

# 敬老会の司会を行い楽しむ

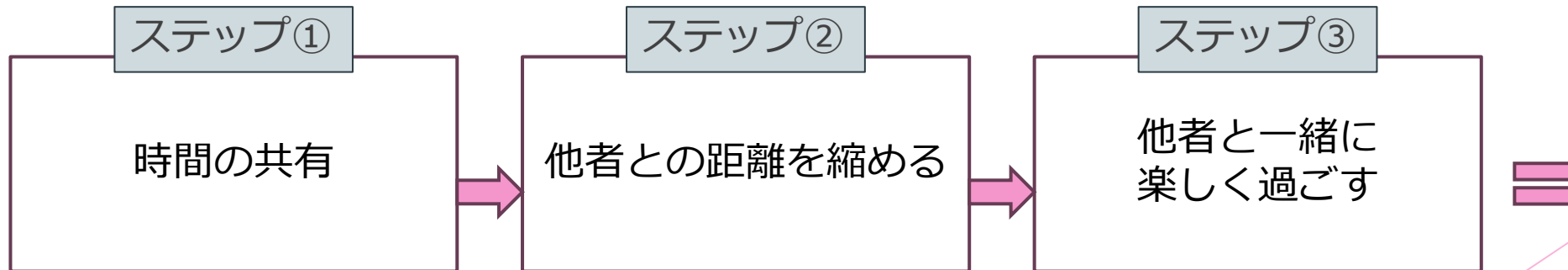


# 3. 取り組み報告

【目標1】 足筋カトレーニング生活リハビリを行いADLの向上を図る



【目標2】 他者との良好な関わりが保てるよう支援しQOLの向上を図る



## ◆ ポイント

本人の気持ちに寄り添い段階的な支援を継続的に行う



# 3. 取り組み報告

## 【目標1】 足筋カトレーニング

### ステップ① 関節可動域訓練



大腿部、足首の関節を動かす  
\* 立位時の痛みの緩和



座って出来る生活リハビリ  
\* 身体機能や生活の質の向上

### ◆ ポイント

目標に向けて諦めずにチャレンジする事への応援

## 【目標1】 他者との良好な関わり

### ステップ① 時間の共有



先入観で他者を拒否  
\* 否定しない気持ちに寄り添う



出来る事から行う  
\* ダメなら別の方向から挑戦

# 3. 取り組み報告

## 【目標1】 足筋カトレーニング

ステップ② 立って出来る運動・役割



R5年4月  
スクワットを行う



R5年5月  
家事を行う

### ◆ ポイント

出来た事への喜びを共感し、自信に繋げていく

## 【目標2】 他者との良好な関わり

ステップ② 得意を活かし距離を縮める



R5年4月  
ドライブに行く



R5年4月  
編み物を行う

# 3. 取り組み報告

## 【目標1】 足筋カトレーニング

### ステップ③ 歩行訓練



R5 5月  
2人介助歩行



R5年 7月  
歩行器歩行

### ◆ ポイント

社会参加する事で人との繋がりができ自分の居場所がある事で生活に活力が出てくる

## 【目標2】 他者との良好な関わり

### ステップ③ 他者と一緒に過ごす



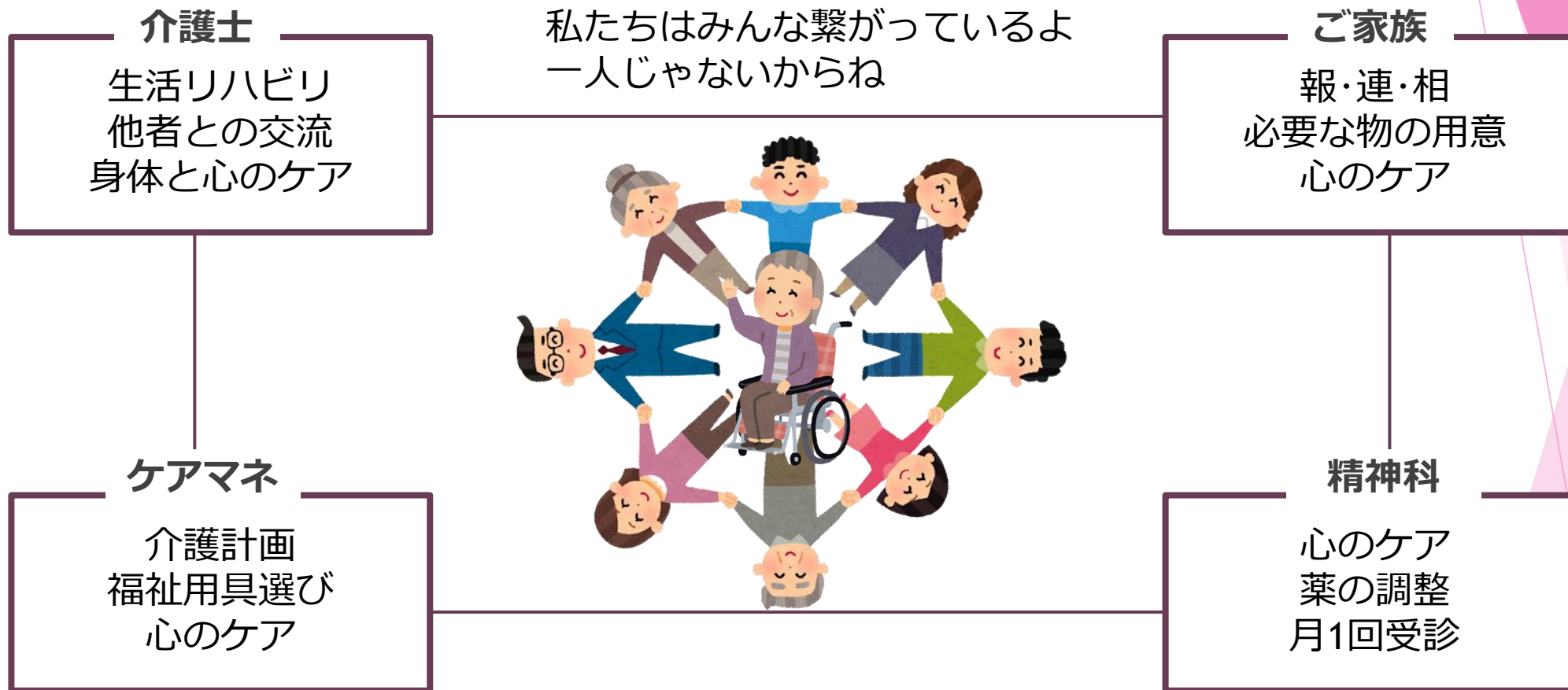
R5年 7月  
主体性が芽生える



R5年 12月  
良好な関係を築く

# 3. 取り組み報告

～多職種との連携～



## ◆ ポイント

病気やその症状を理解し尊厳を持って安心して生活する為チームケアを大切にサポート

# 3. 取り組み報告

目標達成!!

【目標1】 足筋カトレーニング

浜松城公園 10/24



\* 階段も坂も歩いて行けました

【目標2】 他者との良好な関わり

敬老会 9/26



前より会話がスムーズで聞き取りやすくなった御家族もサポートしてくれました。

\* 堂々と人前で司会を行なう

# 3. 取り組み報告

要介護度 5 から 10ヶ月 で要介護度 2 になりました!!

日付	2023年2月	2023年5月	2023年7月	2023年12月
スクワット	0回	10回	20回	30回以上
歩行距離	0 m	2人介助で 3 m	歩行器 300 m	1 km 以上
立位	手すりから手を離せない 支える	立位保てるがフラつく 軽く支える	立位安定 見守り	自立
役割	座ってできること	自分の分のみ立って 見守りのもつ行う	他者の分も立って行う	自らの仕事を見つけ 自立して行動に移す
安定剤	毎日	1日おき→週2回	週1回	内服終了
他者との 関わり	顔を伏せ関わろうとしない	途中までは他者の輪に入れ るようになる	最後まで一緒に他者と過ご せるようになった	他者のお世話をするようにな った
発言	「出来ません」 「やって下さい」 「行きません」	「自分でやれます」 「席に戻って良いです か？」	「色々やらせてもらえて 嬉しい」 「お仕事くださいね」 「楽しかったです」	「今は幸せです 寂しくありません」 「私は明日香で最後を迎え たいです」

## 4.まとめ

### ◆ Y様

始めは机に顔を伏せる毎日でした。

他利用者も認知症がありお互いの言動に対して理解できず双方にとって気持ちが落ち着かない環境となりました。

どうしたら心の距離を縮めることが出来るのか失敗を恐れずに挑戦しうまくいかなければ別の方向からアプローチを考えご家族や多職種との連携も行い 環境を整える事で目標達成に向けて最初の一步が踏み出せるよう取り組みました。

グループホームだからこそ出来る家族のように寄り添い温かいケアを継続的に行なえたことで徐々に心と体の健康を取り戻しY様の言動がみるみると前向きになりました。職員や利用者が困っていると手をさしのべてくれるようになり誰かの役に立ち周りの人に喜んでもらえ感謝されることでより自信や意欲が高まり主体性も向上します。結果目標達成しADL、QOLが大幅に向上し要介護が改善しました。

Y様「明日香は好き ここで死にたい」と居心地の良い場所だと言って頂き又、御家族からも「昔の母に戻ったようでうれしい」と喜んで頂けました。

職員にとってもその事が大変うれしく感じ大きなやりがいと感動を頂く結果になりました。



# 今後の方針

## ◆ Y様

- ▶ 「歩行器なしで歩けるようになりたい」「又、敬老会の司会がやりたい」と新たに自ら目標を立てて職員と共に更なる改善に向けて前向きに取り組んでいます。

## ◆ 事業所

- ▶ 当施設で行なわれている認知症カフェにて事例紹介を行い地域のお困りの方や他事業所との交流を深め希望を持った介護度改善を進めて行きたい。当施設の介護理念であります「お互い様の心」でやりがいを感じられる支援を更に前進させていけたらと強く考えています。

